

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（売場担当）	・猛暑が続いているが、今年の秋は短いということで、秋物が良く売れる。
		スーパー（総務担当）	・前年冷夏だった事による飲料などの大幅な伸びを差し引いても、5ポイント程度伸びており、今後も現状の伸びで推移する。
		スーパー（店舗運営担当）	・競合店の戦略が地域に合っていないことから、約2か月で従来の数字が取り戻せる。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・低価格商品購買と高価格商品購買という二極化が進んでいて、必要な物なら、あまり価格のことを問いたさない客が増加してきている。
		乗用車販売店（サービス担当）	・秋に新型車が投入されるため、客数が増える。
		その他専門店〔スポーツ〕（店長）	・アテネオリンピック開催に向けて、関連商品が本格的に大量に入り、大規模に展開していく。
		その他専門店〔書籍〕（従業員）	・人気海外小説シリーズの新刊が出るため、約3か月間は良くなる。しかしその後は、今のところ良い材料がないので下がる。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営）	・客数、単価ともに回復の兆しを見せており、昨年後半の状況から考えるとやや良くなる。
		都市型ホテル（総務担当）	・レストラン、宿泊ともに、単価の高いものが徐々に売れ始めており、今後もこのトレンドは続く。
		通信会社（企画担当）	・ネット電話、セキュリティ商品の普及で、多少の客単価アップが見込める。
	その他レジャー施設〔温泉センター〕（営業企画担当）	・ここ数か月は各種修繕などで、客にはかなりのご迷惑をかけていたが、現在では営業の状況には若干の手ごたえを感じており、営業体制が整う秋ごろには前年以上の内容で営業ができる。	
	住宅販売会社（経理担当）	・大型の新規発売物件が数棟予定されており、モデルルームへの来場者の増加と販売戸数が増加する。	
	変わらない	百貨店（営業担当）	・残暑が予想され、秋物の動きが懸念されるが、夏物の最終処分や底値商品の展開など、価格訴求による夏物消化の動きが例年以上に良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・夏物特売商品も数量的に展開できなくなり、秋物商戦を立ち上げる時期であるが、この猛暑がいつまで続くかで、売上に大きな影響を受ける。
		百貨店（購買担当）	・例年では、初秋物に対する客の動きが見られる時期にもかかわらず、ヤングキャリア部門もミセス部門いずれもその動きが感じられず、またヒット商品も見当たらない現状から、秋口は苦戦する。
		スーパー（店長）	・販売点数、客数、いずれも増加しているが、客は依然としていかに生活防衛をするかが基本であるため、状況としては現状と変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価は横ばいだが、客数が伸びてきている。長時間スーパーが時短形態に変更したり、競合スーパーの出店もなく、落ち着いてきた。周りの景気は引き続いて良くなりつつある。
		コンビニ（エリア担当）	・年末にかけての好材料はない。涼しくなれば若干回復するとも考えられるが、年内は厳しいと考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・猛暑により好調な夏関連商材を除くと、依然、販売量は横ばい推移となっており、当面現状程度で推移する。
衣料品専門店（経営者）		・元物販だった空き店舗に出店がみられるものの、すべて飲食店への業種転換で、物販にとっては厳しい状況が続	
衣料品専門店（販売促進担当）		・まとめ買いの客が少なくなっている。 ・単価の高いものを惜しみなく買われる方も現れ始めた。	
家電量販店（副店長）	・年配の方は買いたいがい切れないという感じであるが、若い人は、ほぼ購入を決めた状態で来店される傾向があるため、成約率が高い。当面はこの傾向に変わりはない。		
家電量販店（予算担当）	・オリンピックの反動はあるものの、大きな影響はない。		

	乗用車販売店（営業担当）	・新規客来場数が増えていない現状を踏まえて、既納客に対する営業活動の徹底推進を図っているが、客の反応があまり良くない事から、しばらくはトンネルを抜けられな
	その他専門店〔カメラ〕（地域ブロック長）	・来店する顧客との会話でも景気の良い話は聞かず先行きに不安がある。
	一般レストラン（経営者）	・数か月前から客単価が少しずつ回復してきていたが、先月、今月と客単価がほぼ同じになり、しばらくこのままで推移する。
	一般レストラン（店長）	・壹万円札よりも千円札の戻りが増えており、客の金銭に対するシビアな態度は変わらない。
	一般レストラン（店長）	・販売再開した高単価になる鉄板焼の販売数が収支を大きく左右するが、BSEの影響により豪州産の牛肉を入れたが、売価が例年の約1.5倍で設定することになり売上が伸びず、今後も見通しが立たない。
	タクシー運転手	・任意保険の強制加入の実施や車載設備の交換時期に入ったため、負担が増加し増車傾向は止まる。このため業界としては今よりは悪くならない。
	テーマパーク（広報担当）	・当施設だけでなく周辺施設でも集客が落ち込んでいる。原因説明ができない状況なので、変化はない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・商圏内は輸出産業もなく、景気自身が回復しているとは感じられず、今後においても景気が回復する状況は見えてこない。
	商店街（代表者）	・猛暑やオリンピックの反動が来る。
	百貨店（売場担当）	・猛暑が続くと予測され、夏物セールスの展開が長引き、秋物に移行できない。
	百貨店（売場担当）	・3月から6月のプロパー時期は苦戦していたのと同様に、9月からのプロパー時期も苦戦する。 ・全国的にメーカーが生産を抑えている商品もある。
	スーパー（店長）	・大型競合ディスカウント店が開店したため、新たな価格競争が発生し苦しい状況が続く。
	スーパー（店長）	・夏場は好調に推移すると思われるが、秋口は天候が暖かめになると予測されているので冬物の動きが鈍い。
	コンビニ（エリア担当）	・現在、アイス、飲料は非常に売れているが、客単価は変わっていない。 ・暑さが終われば、売上の伸びは期待できない。
	家電量販店（店長）	・現在の販売動向は天候要因によるところが大きいため、今後また通常の状態に戻ると思われ、以前と同じく苦戦す
	家電量販店（店長）	・大型電気店同士の競争はますますは激しくなり、また同系列の店舗同士の食い合いも継続する。
	都市型ホテル（スタッフ）	・秋には通常入るはずの、修学旅行者が入っていない。
	悪くなる	
企業動向関連	良くなる	
	やや良くなる	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	・同業他社と共同開発した国内向け、秋の新製品の前期評判が非常に高く売上が伸びる。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・試作、及び新製品の案件も好調に入ってきており、受注も好調に推移している。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務輸送業（統括））	・以前より一般消費物品の売上は良くなってきているようであり、それが他の商品にも影響してくる。
	金融業（営業担当）	・新紙幣の発行に伴い、業務が増加すると予測され、それとともに各企業におけるコンプライアンス、特に貴重品扱いにおいては専門業者に任せるといった企業が多くなる。
	金融業（業界情報担当）	・小売業を中心に、大手ディスカウントストアが、土地を借り上げて進出してくるという話が複数出てきている。地元業者が工事担当になったり、ディスカウントストアへ商品を卸す地元企業も出たりする事により上向きにな
	金融業（業界情報担当）	・米国景気の減速が懸念されるが、アジア・欧州の景気拡大基調はしばらく続くと思われ、当面受注量は増加基調を維持できる。
変わらない	食料品製造業（総務担当）	・得意先である山口県内、九州方面の商品の動きが悪い。9月後半のおでんシーズンを迎えるまで期待できない。
	化学工業（総務担当）	・経費節減や業務の合理化、効率化などの社内体制の整備により少し利益が出るようになったが、しばらく物流費・原料費・燃料費高などの影響を受けるため収益面での景気回復は厳しい。

	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・需要は現在水準が継続できる。 ・原料費高騰の転化は難しいが、生産量は低価格物を受注することによってまずまずの量が確保できる。		
	鉄鋼業（総務担当）	・中国の経済政策（金融引締め）などによる先行き不安材料もあるが、国内製造業向けなどが引き続き堅調であり、建設部門も回復感が出てきている。		
	金属製品製造業（総務担当）	・仕事量に関してはとても豊富であるが、年末にかけて原材料費の高騰が懸念される。		
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・上期での販売量は、7月がピークであり、9～10月は、落ち着いた受注量となる。		
	輸送業（総務担当）	・製造業関係からの動きの変化がない状況であり、農産物関係に期待するが、現在のところ、状況に変化が見られない。		
	通信業（社員）	・現在の営業展開は大変厳しいものがあり、今後2～3か月後に景気好転して受注増に結びつくとは思えない。下期に向けて早期情報を先取りし提案活動を実施していかねばならないが、現段階では価格競争面で厳しいものがある。		
	通信業（営業企画担当）	・IP技術を利用した通信サービスはさらに充実すると思われるが、メニュー多様化に対して価格面では今後も低下傾向が収まる見込みがなく、業界の生き残り競争は当分厳しく明るさが見えない。		
	会計事務所（職員）	・例年なら、夏場過ぎくらいから公共工事の追加などが見込めたが、今年はほとんど期待できない。受注や需要はあるのだが、コストに見合うだけの価格請求は、まずできない状況が続く。		
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（広報担当） 建設業（営業担当）		
		・液晶については、設備能力拡大による市場への供給力が増加し、価格そのものが低下する。 ・民間工事はデベロッパー関係の発注が大半を占めると考えられ、受注価格がますます厳しくなる。製造業における設備投資は、まだまだ先になりそうである。		
	悪くなる	-		
雇用 関連	良くなる			
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・優秀で必要とされる「質」の部分から、リストラ反動で「量」での採用にシフトする兆しが見え、バブル期同様の人材獲得合戦になる可能性もある。	
		求人情報誌製作会社（支社長）	・求人ニーズは増加傾向である。	
		求人情報誌製作会社（支店長）	・新卒求人が賄いきれないので、その代替としての若手中途求人が、増えていくのではないと思われる。	
		新聞社 [求人広告]（広告営業担当）	・広島地区は、今秋新規大型店開店に伴う求人数増加がある。	
		新聞社 [求人広告]（担当者）	・正社員の募集は依然として増加していないが、スーパーの出店や設備機器・用具などによる募集がある。	
		職業安定所（職員）	・卒業予定者向けの求人数が前年比で大幅に増加している。	
		学校 [大学]（就職担当）	・9月頃に再度、求人の波がくると予測され、再度、学生の就職活動が活発化する。	
		変わらない	人材派遣会社（経営者）	・オフィス系の人材派遣需要は堅調ではあるが、単価は相変わらず下落気味である。販売職や製造スタッフの需要はオフィス系よりも高くなっているが、季節要因が大きい。
			新聞社 [求人広告]（担当者）	・小売業の状況が今後どうなるかだが、売上が伸びても販売単価が下がっている現状から、前年の売上を上回るとは厳しく、当面、目立った動きはない。
		職業安定所（職員）	・製造や販売関係は上向き傾向にあるが、建設関係は公共事業の減少により今後厳しくなる。	
		職業安定所（雇用開発担当）	・求人は全職種において増加傾向にあるものの、正社員としての募集は全体の半数程度であり、景気の回復にはもう少し時間がかかる。	
		学校 [短期大学]（就職担当）	・地元地域の慎重感は依然として変わらず、都市圏の景気回復調が地元地域に及ぶまでには、まだ、やや時間を要する。ただ、地元地域に大規模量販店の進出が相次いでいることと、地域経済を左右する地元大企業が大型プロジェクトの受注に成功したとの話題や、そのグループ企業のうち一部業種企業が業績を回復させつつある。	
	やや悪くなる			
	悪くなる	-		